

みずほCustomer Desk Report 2023/07/14 号 (As of 2023/07/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	138.68
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	138.33	1.1141	154.12	1.2996	0.6793
SYD-NY High	138.95	1.1228	155.12	1.3144	0.6895
SYD-NY Low	137.93	1.1129	153.93	1.2984	0.6786
NY 5:00 PM	138.06	1.1227	154.97	1.3134	0.6890
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,395.14	47.71	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	14,138.57	219.61	日本10年債	0.4700%	0.0000%
S&P	4,510.04	37.88	米国2年債	4.6314%	▲0.1149%
日経平均	32,419.33	475.40	米国5年債	3.9464%	▲0.1270%
TOPIX	2,242.99	21.51	米国10年債	3.7654%	▲0.0949%
シカゴ日経先物	32,775.00	690.00	独10年債	2.4625%	▲0.0840%
ロンドンFT	7,440.21	24.10	英10年債	4.4195%	▲0.0860%
DAX	16,141.03	118.03	豪10年債	4.0560%	▲0.0840%
ハンセン指数	19,350.62	489.67	USDJPY 1M Vol	10.68%	▲0.47%
上海総合	3,236.48	40.35	USDJPY 3M Vol	10.05%	▲0.21%
NY金	1,963.80	2.10	USDJPY 6M Vol	9.68%	▲0.16%
WTI	76.89	1.14	USDJPY 1M 25RR	▲1.42%	Yen Call Over
CRB指数	270.74	2.44	EURJPY 3M Vol	9.78%	▲0.24%
ドルインデックス	99.77	▲ 0.75	EURJPY 6M Vol	9.60%	▲0.13%

東京	東京時間のドル円は138.33レベルでオープン。オープン直後には下押し圧力が強まり138.08まで下落もその後は日経平均株価の上昇にもサポートされ仲値にかけてドル円は上昇。午後に入りクロス円の上昇につれ高となり138.82を付ける。結局138.54レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.54レベルでオープン。全般に米金利低下でドル売り継続。一方で堅調な株式市場を横目に円安も並行したことでドル円は動意薄。138.50レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3018レベルでオープン。英5月月次GDPがやや予想を上回る中で15か月ぶりの高値水準となる1.3078まで買われ1.3063レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台半ばでスタート。オープン序盤は前日のドル安の流れを引継ぎ、138円台前半まで下落するも、その後アジア株が軒並みに堅調な展開を受け反発し、138円台後半まで値を戻す。しかし、その後は伸び悩み反落し、138.50レベルでNYオープン。朝方は米6月コアPPIが予想を下回り、前日に発表された米6月CPIに続き、米インフレが減速している思惑が下押し圧力となり、138円ちょうど付近まで売られる。午後にも上昇材料が見当たらない中、軟調な展開が続き、137.93まで値を下げ、5/22以来の安値を付ける。終盤は動意乏しくなり、138.06レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.11台前半でスタート。欧州株高の展開を眺めながら、買いが先行し、1.11台まで上昇する。続いて発表された6月ECB議事録では「コアインフレが転換点を示していないと幅広く認識された」との見方が支えとなり続伸し、1.1175レベルでNYオープン。朝方は先述の弱い米6月PPIの内容を受け、ドル売りが強まる中、ユーロドルは1.12台に乗せる。午後にも底堅い推移が続き、終盤には1.1228まで年初来高値を更新し、1.1227レベルでクローズ。

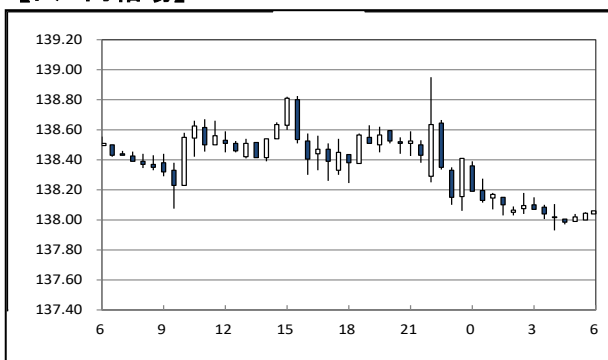
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月13日	12:49	中 輸出(前年比)	6月 -12.4%	-10.0%
	12:49	中 輸入(前年比)	6月 -6.8%	-4.1%
	12:49	中 貿易収支	6月 \$70.62B	\$74.90B
	20:30	欧 ECB議事要旨	「コアインフレは転換点を示していない」	
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/0.1%	0.2%/0.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8-Jul 237K	250K

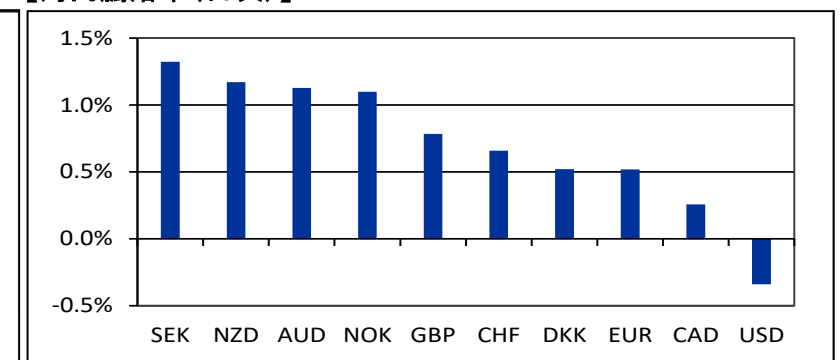
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月14日	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	7月 65.5	64.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-139.00	1.1050-1.1300	152.50-156.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。東京時間138.33でオープン。オープン直後には下押し圧力が強まり138.06まで下落もその後は日経平均株価の上昇にもサポートされ仲値にかけてドル円は値を戻す展開。クロス円の上昇につれ高となり138.82を付けるも、その後反落し、138円台半ばでもみ合い推移。NY時間では、発表された米7月新規失業保険申請件数の強い結果を受けて一時138.95をタッチする場面がみられるも、同時に発表された米6月コアPPIが予想を下回り、前日に発表された米6月CPIに続き、米インフレが減速している思惑が下押し圧力となり、138円を割れて安値137.93と、5/22以来の安値を付け、結局138.06でクローズした。

本日のドル円は軟調推移を予想する。米インフレの鈍化が確認され、今週に入ってから米金利は平行に30bp以上低下。一方で、日銀による緩和政策の修正との思惑が出てきており、本日のドル円は前日の流れを引きつぎ、軟調推移となるか。海外時間では、米7月ミシガン大学消費者マインドの発表が予定されており、結果に注目が集まっている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・鈴木